

## #28 ヘブルをまるごと読む

前半 1:1-10:18 信ずべきこと

後半 10:19-13: なすべきこと

- 「～しようではないか」奮励の言葉
- 信仰の先祖たちの忍耐の証し
- 約束の都 (相続分)
- 約束のよみがえり (相続人)



## #28 ヘブルをまるごと読む

# イエスの血

私たちはイエスの血によって

大胆に聖所に入ることが出来ます。 10:19

永遠の契約の血による羊の大牧者 13:20

なぜ約束の祝福を受けるのにイエスの血が必要?



## #28 ヘブルをまるごと読む

### 大祭司

- キリスト=メシア 油注が"れたもの
- 王: 善悪をさばいて国を治める者 冠は「義」
- 祭司: 聖なることを守る者 冠は「聖」
- アロンの子孫は大祭司

「また、純金の柎を作り、その上に印章を周るように『主の聖なるもの』と周す。・・・これがアロンの額の上にあつて、アロンは、イスラエルの子らが聖別する聖なるもの、彼らのすべての聖なる献物上物に関与するがを負う。」 出エジプト記28章



## #28 ヘブルをまるごと読む

# なだめの日 / あがないの日 ヨム・キプール

「第二の幕屋には年に一度、大祭司だけが入ります。そのとき、自分のため、また民が知らずに犯した罪のために流れる血を携えずに、そこに入るようなことはありません。」 9:7

- 7月10日は「なだめの日」 7月15日から仮庵祭



## #28 ヘブルをまるごと読む

# 安息日

- 「神は第七日を祝福し、この日を聖なるものとされた・・・」
- 「安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ」
- 「年に三度、あたしのために祭りを行わなければならない」
- 7年目は安息年
- ヨベルの年



## #28 ヘブルをまるごと読む

# ヨベルの年

「あなたは安息の年を七回、すなわち、七年の七倍を数える。安息の年が七回で四十九年である。あなたはその第七の月の十日に角笛を鳴響かせる。宥めの日に、あなたがたの全土に角笛を鳴響かせる。あなたがたは五十年目を聖別し、国中のすべての住民に解放を宣言する。これはあなたがたのヨベルの年である。」 レビ記25章



## #28 ヘブルをまるごと読む

# ただ一度だけ

「年ごとに自分の血でない血を携えて聖所に入る大祭司とは違い、キリストはご自分を何度も献げようようなことにはなさいません。」 9章25節

「また、雄やぎと子牛の血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度だけ聖所に入り、永遠のあがたないを成し遂げられました。」 9章12節



聖書再入門 (聖書人になりたい・シーズン3)

#28 ヘブルをまるごと読む

旧約聖書からの引用

詩篇95篇、110篇、エレミヤ書31章・・・



## #28 ヘブルをまるごと読む

# メルキゼデク

「イエスは、私たちのために先駆者としてここに入り、メルキゼデクの例に倣って、とこしえに大祭司とされたのです。」

このメルキゼデクはサレムの王で、いと高き神の祭司でしたが、アブラハムが王たちを打ち破って帰るのを迎えて祝福しました。彼の名は訳すと、まず「義の王」、次に「サレムの王」、すなわち「平和の王」です。父もなく、母もなく、系図もなく、生涯の初めもなく、いのちの終りもなく、神の子に似た者とされて、いつまでも祭司としてとどまっているのです。」

6:20-7:3



## #28 ヘブルをまるごと読む

# 義の王、平和の王である大祭司

主は私の主に言われた。「あなたはあたしの右の座に着いていなさい。あたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで。」詩篇110:1

主は誓われた。思い直されることはない。「あなたはメルキゼデクの序列に依り、とこしえに祭司である。」詩篇110:4



## #28 ヘブルをまるごと読む

# ヘブル人への手紙

- 誰が書いたか、誰宛に書かれたのか不明
- 出だしが「ローマ人への手紙と同じ

「この福音は、神がご自分の預言者たちを通して、聖書にあらかじめ約束されたもので、御子に関するものです。」ローマ1章

「神は昔、預言者たちによって、多くの部分に分け、多くの方法で先祖たちに語られましたが、この終りの時には、御子にあって私たちに語られました。・・・」ヘブル1章



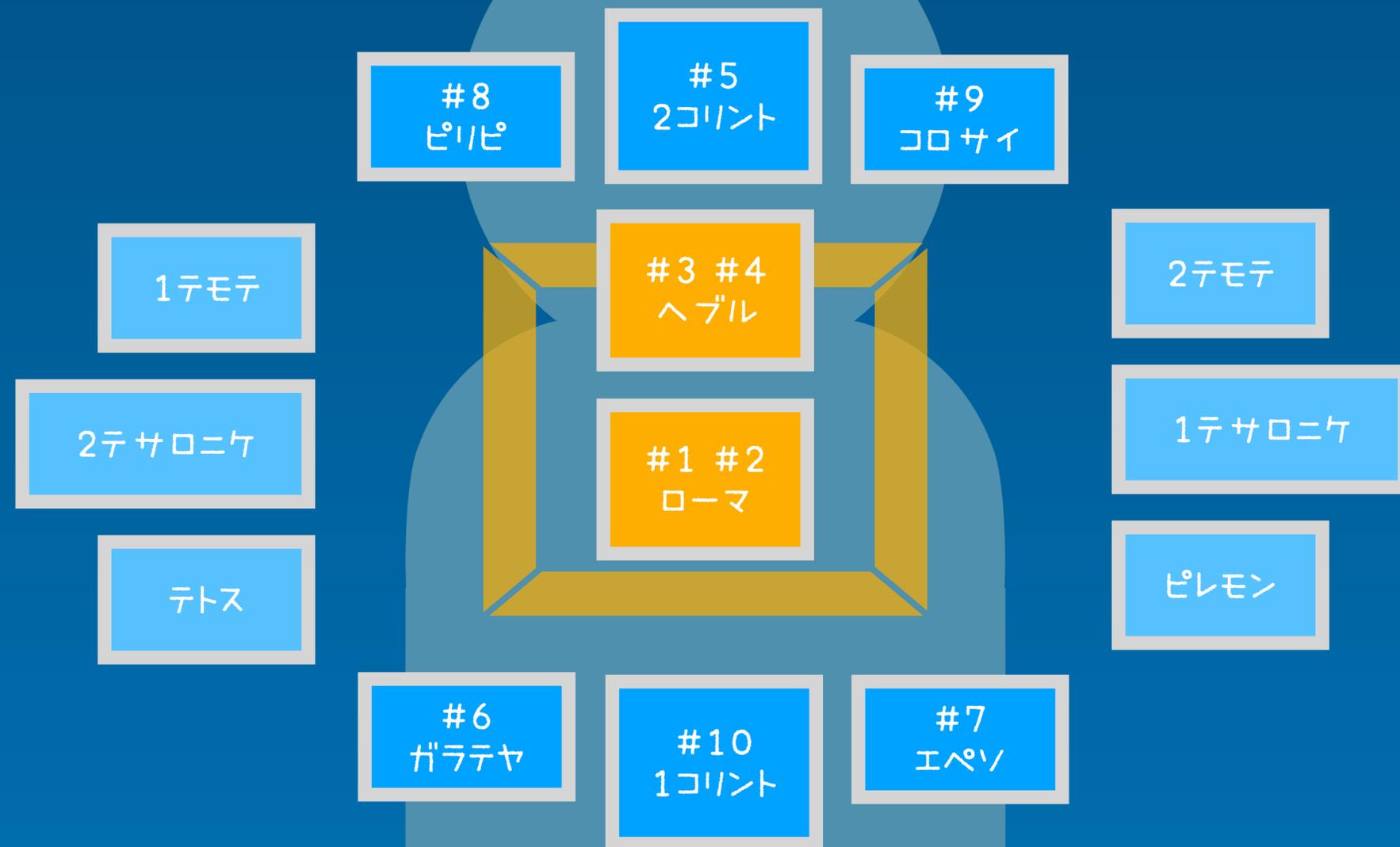
## #28 ヘブルをまるごと読む

第3戒 御名をみだりに唱えるな 聖なる大祭司

第4戒 安息日を覚えてこれを聖なる日とせよ 神の家の平和



# #28 ヘブルをまるごと読む



# #28 ヘブルをまるごと読む



**聖書人になりたい**  
作成者: kannokazuhiko

この番組は、聖書についての夫婦放談です。週に一回、土曜日配信です。洗礼を受けて、33年。6人の子供たちと与えられ、全員を、聖書ホームスクールで育てました。その中でみことばの発見をた〜くさんさせていただきました。そのめぐみをみなさんと共有したいのです。天に国籍のある天国人の公用語は、聖書語です。聖書人になりたい。でも、1代目の移民はネイティブにはなりません。二世、三世、さらにその次の世代へと相続されていきますよう

Spotifyで聴く    メッセージ

以下のプラットフォームで再生できます

#16 聖書の中の聖書のあらすじ (ヘブル人への手紙・信仰者の証し)  
聖書人になりたい • Mar 20, 2020

共有

